

経済倶楽部便り

◆東京◆ 倶楽部ホールは昨年8月に全面リニューアルされ、ワイヤレスマイクやパワーポイント（PPT）の機能が向上。会員の質問時に

雑音が入ることが無くなったほか、PPT活用でグラフや写真を数多く映し出す講師も増えていきます。ただ、PPTは会場での理解にはプラスですが、図表の講演録への掲載枚数には限界があり、編集時に文章表現に変えるなど、また別の作業が必要になっています。

4月入会の新会員をご紹介します。後藤陽・帝人代表取締役専務執行役員、田代真弓・DD Cジャパン代表取締役、國安孝則・出光興産常

勤監査役、川島萬里子氏、荒牧洋一氏です。

6月の講師は石川一洋・NHK解説主幹、庄司克宏・慶應義塾大学教授、山下一仁・キャノングローバル戦略研究所研究主幹、佐治信行・三菱UFJモルガン・スタンレー証券チーフエコノミストの各氏を予定しています。

◆中部◆ 名古屋の北陸出身の会員に北陸新幹線の開業でさぞ地元は賑わっているだろうと質問。ところが、金沢市も富山市も人口40万人の都市。観光インフラはまだ不足。人口220万人の名古屋市と同列には論じられないとのこと。北陸の観光開発の本番はこれからのようです。

6月は事業所見学会と講演会を予定。講演会の講師はナカニシ自動車産業リサーチ代表の中西孝樹氏を予定しています。（日暮良一）